

えどがわエコセンター 公式SNS 開設しました
環境イベント等の情報をお知らせします



LINE 友だち募集中!
LINE ID: @394gekmx
「友だち追加」から左の二次元バーコードを読み取るか、上記IDで検索してください。



X フォロワー募集中!
アカウントID: @ecocenter00
左の二次元バーコードを読み取るか、上記IDで検索してください。

えどがわエコセンター
第21回 通常総会開催

令和6年5月25日(土)第21回通常総会が開催され、全ての議案が原案通り可決されました。

また、この総会を以て、理事長が岩瀬耕二から岡村昭雄に交代いたしました。

えどがわエコセンターは今後も、より良い環境づくりに向けて事業運営を行ってまいりますので、よろしくお願いたします。



岡村昭雄 新理事長

河川・海洋ごみ問題に取り組む
エコセンター会員団体の紹介 敬称略・順不同

詳しくは
各団体まで!



荒川クリーンエイド・フォーラム

荒川河川敷各所にて、調べるごみ拾いを中心に、総合的に荒川の環境を考え、市民の意識の向上をはかっています。



DEXTE-K (ディクテック)

「西なぎさ発:東京里海エイド」という葛西海浜公園西なぎさで漂着ごみのクリーンアップ活動を長年実施しています。



ふるさと東京を考える実行委員会

将来にわたって子どもが裸足で遊べる浜辺づくりを目指し、葛西海浜公園西なぎさでビーチクリーンを長年にわたり実践しています。



令和6年度 エコアクション講座 ~今後の予定~

9/21 土 講演会 温暖化と気象のいま

10/5 土 体験会 葛西海浜・臨海公園 魅力発見・探検ツアー

10/19 土 講演会 食品ロスはもったいない!
~こんな工夫で家庭から出る食品ロスをもっと減らせます~

11/9 土 講演会 地球沸騰化等についての講演会(仮)

12/21 土 講演会 青い地球(ほし)を守るために
-マイクロプラスチックと海洋汚染の状況- (中面の記事もご覧ください)

2/8 土 体験会 船上観察会 屋形船でラムサール条約登録湿地を見に行こう!

詳細についてはHP・SNS等でお知らせします。みなさんのご参加をお待ちしております!

掲載内容は変更になる場合がございますのでご了承ください。

地球沸騰化について
気象予報士の森田
正光さんに解説して
いただきます



寄付のお願い



皆さまからの寄付は持続可能な地域社会づくりに貢献する取り組みに活用いたします。認定NPOへの寄附は税制優遇の対象です。ご希望の方には証明書を送付します。

認定NPO法人 共育・協働の環境づくり

編集・発行 **えどがわエコセンター**

住所: 〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階
TEL: 03-5659-1651 FAX: 03-5659-1677
E-mail: edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp
URL: https://edogawa-ecocenter.jp/
Facebook: https://www.facebook.com/edogawa.ecocenter
開館時間: 9:00 ~ 17:30 定休日: 日曜・祝日



※機種によっては読み取りづらい場合があります



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用



エコちゃんねる

えどがわエコセンター情報紙 vol.62

August 2024

エコちゃんねる=えどがわエコセンターのイメージキャラクター・エコちゃん+Channel (情報を送る) 2004年7月創刊

海洋プラスチックごみについて 考え行動しよう!



私たちの生活に欠かせないプラスチック。一方で、プラスチックは自然界での分解が困難なため、残り続け、環境汚染の原因となっています。改めて、プラスチックについて考え、一緒に行動してみませんか?





海洋プラスチックごみについて考え行動しよう!

プラスチックは便利で私たちの生活に身近な存在ですが、一方でプラスチックによる海洋汚染が世界的な課題となっています。

海洋ごみの種類は?

- 漂着ごみ：岸辺に打ち上げられたごみ
- 漂流ごみ：海面や海中に漂うごみ
- 海底ごみ：海底に堆積したごみ

中でも、ペットボトルや食品容器等のプラスチック製品は、自然界での分解が困難なため半永久的に残ってしまうことから、環境への影響が大きいと懸念されています。

流木の他、発泡スチロールやペットボトル、お弁当の容器等プラスチックごみが多く目立ちます。



荒川沿い船堀橋下流河川付近(中土手)▶

なぜ海へ流出してしまうの?

ごみのポイ捨てや投棄されたものが、雨や風によって水路や川から海へ流れます。また、台風や洪水、船舶事故等により、意図せず海へ流される場合もあります。

海洋流出を未然に防ぐことが大切だね!



海への影響は?

海洋生物の誤食
餌と間違え命を落としています。



マイクロプラスチックって?

大きさが5mm以下の小さなプラスチックのことで、波や紫外線等の影響により小さくなり、数十年と海に残り続けます。

これを食べた魚を人間も取り込んでしまい、人体に害が及ぶことが懸念されています。



プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラ新法)(令和4年4月施行)

製品の設計から廃棄まで、全ての工程でプラスチックの資源循環を促進する法律です。具体的には、排出抑制・再資源化のための環境配慮設計、使い捨てプラスチック製品使用の合理化、自主回収・再資源化等があります。

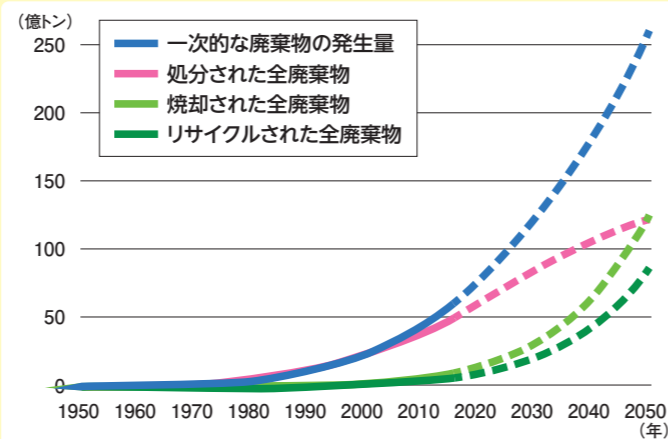
プラスチックごみの現状

全世界の1950年以降の合計量

プラスチック生産量 = 83億トン
プラスチック廃棄量 = 63億トン

現状のペースでは、2050年までに250億トンのプラスチック廃棄物が発生し、120億トン以上のプラスチックが埋立・自然投棄されると予測されています。

このままプラスチックごみが増え続けると、海洋プラスチックごみの量が、海にいる魚を上回るといわれています。



プラスチック廃棄物発生量の推計

出典：環境省「令和2年版 環境・循環社会・生物多様性白書」

私たちにできること

- エコバッグやマイボトルを利用する
- 屋外で出たごみは持ち帰る
- 簡易包装の商品や詰め替え商品を使う
- 修理して同じものを長く使う

みんなで取り組もう!

レジ袋いりません



地域まつりでアンケートに参加してくれたお客さん457名に聞きました!



ぜひ一緒に!



海を守るエコセンターの活動に参加してみませんか

東なぎさクリーン作戦

(毎年6月と10月～11月頃実施予定)

東なぎさクリーン作戦とは葛西海浜公園の東なぎさで実施している清掃活動です。都内初のラムサール条約登録湿地で普段は鳥獣保護区として立ち入りできない東なぎさに許可を得て船で渡り、漂着ごみ等の清掃活動を行います。その後、植物、鳥類、カ二等の底生生物の自然観察会を行い、豊かな自然について学びます。



清掃活動の様子



底生生物観察会の様子

海洋プラごみについての講演会

青い地球(ほし)を守るために —マイクロプラスチックと海洋汚染の状況—
(令和6年12月21日実施予定)

水中写真家の鍵井靖章氏をお招きし、実際に撮影された水中の写真をもとにプラスチックごみによる海洋汚染の現状についてお話いただけます。

(裏面の「エコアクション講座」もご覧ください)



撮影：鍵井靖章氏

イベントの詳細については、エコセンター公式SNS(LINE・X)やホームページ、広報えどがわ等で順次お知らせします!

裏面にSNSやホームページの二次元バーコードを掲載していますので、見てくださいね!

